

平成 21 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 IHI
代 表 者 名 代表取締役社長 金 和 明
コ ー ド 番 号 7 0 1 3
問 合 せ 先 取締役執行役員
財 務 部 長 芹 澤 誠
(TEL 03-6204-7067)

平成 21 年 3 月期通期の業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 11 月 10 日に公表しました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想ならびに配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期 通期 連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（金額単位：百万円）

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|--|-----------|---------|---------|-----------|-----------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 11 月 10 日 発 表) | 1,440,000 | 29,000 | 18,000 | 8,000 | 5.46 円 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 1,400,000 | 6,000 | △10,000 | △25,000 | △17.05 円 |
| 増 減 額 (B-A) | △40,000 | △23,000 | △28,000 | △33,000 | △22.51 円 |
| 増 減 率 (%) | △2.8 | △79.3 | — | — | — |
| (ご参考) 前 期 実 績 (平成 20 年 3 月 期) | 1,350,567 | △16,807 | △30,812 | 25,195 | 17.18 円 |

2. 平成 21 年 3 月期 通期 個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（金額単位：百万円）

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|--|---------|---------|---------|-----------|-----------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 11 月 10 日 発 表) | 760,000 | 7,000 | 4,000 | 2,000 | 1.36 円 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 740,000 | △3,500 | △8,000 | △15,000 | △10.23 円 |
| 増 減 額 (B-A) | △20,000 | △10,500 | △12,000 | △17,000 | △11.59 円 |
| 増 減 率 (%) | △2.6 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前 期 実 績 (平成 20 年 3 月 期) | 734,701 | △46,554 | △51,326 | 13,220 | 9.01 円 |

3. 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想

平成 21 年 3 月期通期の連結業績につきまして、為替相場が依然として円高水準に留まっていること、世界経済が急速に悪化していることを慎重に検討しました結果、通期業績見通しへの影響は避けられない可能性が高いと判断いたしました。なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、米ドルを 100 円から 90 円に、ユーロを 140 円から 120 円に、また豪ドルを 75 円から 60 円にそれぞれ見直しを行っております。

セグメント別の売上高・営業利益の見通しは、下表のとおりです。

(金額単位：億円)

| | 前回発表予想 (A) | | 今回修正予想 (B) | | 増減額 (B-A) | |
|------------|------------|------|------------|------|-----------|------|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 物流・鉄構 | 2,100 | △20 | 2,100 | △25 | | △5 |
| 機械 | 2,400 | 140 | 2,200 | 110 | △200 | △30 |
| エネルギー・プラント | 4,400 | △40 | 4,300 | △100 | △100 | △60 |
| 航空・宇宙 | 3,200 | 140 | 3,100 | 110 | △100 | △30 |
| 船舶・海洋 | 1,700 | △20 | 1,750 | △120 | 50 | △100 |
| 不動産 | 150 | 50 | 150 | 50 | | |
| その他 | 1,550 | 40 | 1,500 | 35 | △50 | △5 |
| 消去 | △1,100 | 0 | △1,100 | 0 | | |
| 合計 | 14,400 | 290 | 14,000 | 60 | △400 | △230 |

物流・鉄構事業につきましては、公共事業関連の採算性改善の遅れを織り込みました。機械事業につきましては、世界的な自動車販売台数の大幅な減少の影響を受け、車両用過給機が減収・減益となるなど、景気減速の民需関連製品への影響を見込みました。エネルギー・プラント事業につきましては、円高による為替差損に加え、豪州向けボイラプラントで、工程遅延対策に係る追加費用などを見込むことといたしました。航空・宇宙事業につきましては、円高による減収・減益は避けられない見通しです。船舶・海洋事業につきましては、手持の外貨建契約の新造船について、為替レートの見直しに伴って採算性の評価を行った結果、受注工事損失引当金の積み増しが必要となる見通しです。不動産事業につきましては、前回発表予想どおり推移する見込みですが、その他事業につきましては、急速な景気後退の影響を受けて、農機・建機が減収・減益となる見込みです。なお、前提為替レートを見直したことによる業績への影響は、グループ全体で、売上高が 210 億円程度の減収、営業利益が 180 億円程度の減益と見通しております。

営業外損益につきましても、円高により外貨建債権に係る為替差損が増加する見込みであり、この結果 100 億円の経常損失となる見通しです。

特別損益につきましては、子会社の取引先の財務状態を詳細調査した結果、子会社の有する債権の回収に不能または遅延のおそれが判明したため、回収不能と見込まれる額 135 億円を、貸倒引当金繰入額として特別損失に計上することといたしました。特別損失の内容の詳細につきましては、本日開示いたしました「関係会社に関する引当金計上の経緯等について」をご覧ください。また特別利益の見直しには、固定資産売却益を見込んでおります。

(2) 個別業績予想

平成 21 年 3 月期通期の個別業績につきましては、連結業績と同様の理由（船舶・海洋事業、その他事業のうち農機・建機を除く）により、前回発表予想に対して減収・減益となる見込みです。

4. 業績改善対策について

(1) 円高・景気低迷が長期化し、今後の業績に悪影響を及ぼすおそれがあるため、次の緊急対策を実施し、業績の改善に向けて注力してまいります。

- ① 調達市況の動向を反映した調達価格見直し、設備投資の選別・圧縮、人件費圧縮など徹底的なコスト削減
- ② グローバル受注活動の展開（中国を含むアジアと米州に注力）
- ③ 中小規模設備のメンテナンス・部品事業拡大など、需要の掘り起こし
- ④ 為替変動リスク対策の強化
- ⑤ 生産部門間の機動的な調整による操業維持と雇用確保

(2) 今後の発展に繋がる投資や体質改善に結びつく次の対策の継続・強化・早期化を図り、次の世界経済回復期における大きな飛躍を目指します。

- ① 円建・複数通貨建受注の拡大、グループ全体の海外調達比率の拡大、海外生産比率の拡大など、為替変動リスクに強い体質の構築
- ② コア技術と生産技術の強化による生産機能の強化と再編
- ③ 設計品質や工事管理能力の向上などエンジニアリング能力の強化
- ④ 業務品質の向上による組織の簡素化・スリム化
- ⑤ グループ全体の不採算事業・ノンコア事業の整理

(3) 事業構造転換策の検討を加速してまいります。

為替変動や景気変動の影響を受けにくく、競争力が高い事業構造への転換策の検討を加速し、次期経営計画に盛り込みます。

5. 配当予想の修正について

上述させていただきましたとおり、当期の業績の状況を鑑み、誠に遺憾ながら期末配当は無配とさせていただきます予定です。

| | 1株当たり配当金 |
|---------------------------------|----------|
| | 期 末 |
| 前回発表予想 (平成 20 年 11 月 10 日発表) | 未 定 |
| 今回修正予想 | 無 配 |
| 前期実績 (平成 20 年 3 月期) | 4. 0 0 円 |

6. 役員報酬の減額について

期末配当を無配とさせていただくことを真摯に受け止め、役員報酬の減額を実施する予定です。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上